

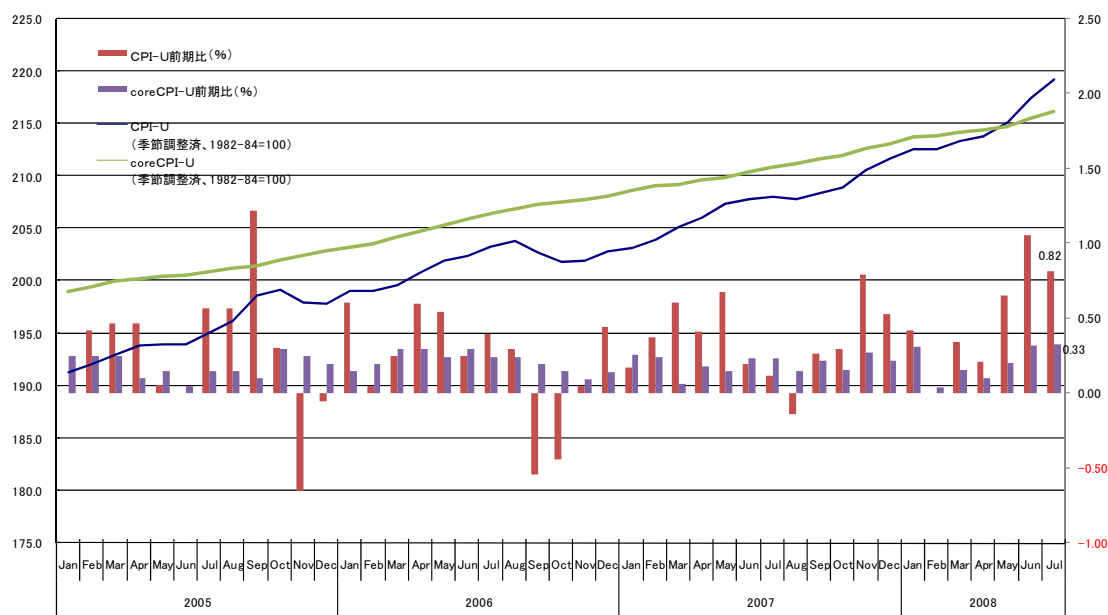
米国経済点描（2008. 8. 25）

～物価指数～

米国労働省労働統計局（BLS）が8月14日に公表した2008年7月の消費者物価指数によると、7月の全都市消費者の消費者物価（季節調整済）は、6月から0.8%上昇し、前年同月比では5.4%の上昇率となった。また、食料及びエネルギーを除くコアインフレ率は0.33%上昇した。これは年率に直すと4.0%の上昇に相当し、FRBが許容の上限とする2%の範囲内をはるかに超える。年率換算で2%を超えたのは3ヶ月連続。

一方、同局が8月19日に公表した卸売物価指数でも、最終財と中間財がそれぞれ前月から1.2%、2.7%と、3ヶ月連続して大幅に上昇した。原油等の原エネルギー材料についてみると、1ヶ月で6.9%も急騰しており、物価上昇の約半分が原油高の影響によるものとみられる。日本同様に中間財の高騰が続いており、消費者物価の上昇は今後とも通づく見通し。

消費者物価指数(都市部消費者)



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail [contact\("atmark"\)axis-research.co.jp](mailto:contact@axis-research.co.jp)